

じんけん
人権
～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.536 「多文化共生」

多 文化共生という、
「外国の人たちをど

う受け入れるか」として語られることが多いかもし
れませんが、少し視点を変えて、「もし自分が
外国で暮らすことになったら」と考えてみると、
その意味がぐっと身近に感じられます。

例えば、言葉が通じにくい中で生活をしたり、
学校や職場で文化の違いに戸惑ったりした時、
相手が困っていることに気付き、解決策を一緒
に考えてくれたら、ほっとした気持ちになるの
ではないでしょうか。私たちが外国で生活する
際に感じる不安や緊張は、日本で暮らす外国の
人々も、同じように感じているかもしれません。

「自分が相手の立場だったらどう感じるか」を
想像することは、多文化共生に限らず、さまざ
まな人権課題に共通する大切なことです。その
ためには、まず相手のことを知り、理解しよう
とすることが第一歩になります。

1月に開催する「益城町人権フェスティバル」
では、多文化共生について考える機会として、
プロバスケットボールチーム「熊本ヴォルター
ズ」による「多文化共生トークイベント」や、町在
住の外国の人々も参加する体験型ワークショッ

プ「HELLO WORLD」などが行われます。皆さ
まで楽しく参加して、多文化共生を身近に感じ
てみませんか。

「お互いが理解し合える関係」こそ、本当の意
味での「共生」です。違いがあるからこそ学びが
あり、世界が広がります。相手に対する思いや
りと理解の輪を広げ、お互いの人権が尊重され
る町にしていきたいと思います。

益城町人権フェスティバル 2026

◆日時

《展示》

1月15日(木)～18日(日) 午前9時～午後5時

《ステージ・イベント》

1月17日(土) 午前10時～午後3時

◆会場 地域共生センターカタル

◆参加無料

◆ステージ・イベント内容

- ・熊本ヴォルターズ多文化共生トークイベント
- ・大谷楽器ビッグキャニオンジャズコンサート
- ・人権寸劇 ・映画上映「野生の島のロズ」
- ・パネル展「日常の中にある部落差別～“マイク
ロアグレッション”ってなに?～」
- ・ワークショップ ・マルシェ など



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

安全×安心

◆地域安全ニュース

1月10日は「110番の日」

110番通報は事件・事故が起きた時
の緊急の電話窓口です。110番の正し
い利用にご協力をお願いします。

■相談や困り事は警察相談電話へ

・383・9110

・#9110

■110番通報時に伝えること

・いつ、どこで、何があったのか(事件か・
事故か)

・犯人の人相、服装、人数、逃走方向、車種、
被害状況

・通報者の住所、氏名、電話番号

■携帯電話からの通報

・車を運転しながらの通報は厳禁です。
徒歩でも通話が途切れるため、立ち止
まってください。

・市町村名や、目印となる建物・施設を
伝えてください。



◆防火と救急

冬の事故を未然に防ぐ

冬は冷え込みや積雪により、事故が多
発する季節です。特に橋の上、日陰、玄
関先は凍結しやすく注意が必要です。

降雪時は視界が悪化し、路面凍結も進
みます。車を運転する際はスタッドレス

タイヤを早めに装着し、車間距離を通常
の2倍以上確保しましょう。スリップを

招く急ブレーキや急ハンドルは厳禁。雪
道では速度を控え、ヘッドライトを早め

に点灯してください。ワイパーやバッテ
リーの点検、凍結防止スプレーの準備と

いった事前の備えも忘れずに。

歩行時は、滑りにくい靴を選び、小さ
な歩幅でゆっくりと歩きましょう。転倒

に備え、手袋をして両手を空けておくこ
とも大切です。玄関や通路には融雪剤や

砂をまいて凍結を予防し、積雪時には屋
根や木からの落雪にも注意しましょう。



令和7年
町内の火災等発生状況

| 発生区分 | 11月中 | 累計 |
|-------|------|-------|
| 建物 | 0 | 6 |
| 車両 | 0 | 2 |
| 火災 林野 | 0 | 0 |
| その他 | 1 | 3 |
| 警戒出動 | 3 | 21 |
| 救急出動 | 115 | 1,643 |
| 救助出動 | 1 | 9 |

益城西原消防署 ☎ 286・2119

投稿は①氏名(ペンネームの場合はふりがなも)②住所③電話番号④作品を明記し、

メール(mashiki890@gmail.com)、はがきで役場広報係に送ってください。締切は毎月10日(必着)。

益城の 文芸

短歌

高台の家並み連なる辻々に帽子被りてほほ
えむ野仏 安永 守住 孝子

さむい夜はホットコーヒー銀の匙くるくと
まぜしばしながめて 木山 赤城 香織

落葉がカサカサ音たて吹かれ飛ぶ晩秋の
頃師走迎える 広崎 日野ヒロ子

健康で笑顔あふるる年となす初日に祈る
年女なり 惣領 島田 廣子

この夏の暑さ乗り越え秋明菊可憐な白き
花を咲かせり 木山 本田 龍子

めまいかと錯覚したはまた地震もう来な
いでと祈る民 馬水 増田 訓子

拙歌でも文芸欄に載ったなら無趣味な我
をふるいたたせる 惣領 清水 宏

早朝の復興近し四車線眠れる重機月は照
らしぬ 惣領 甲斐 道夫

ありがとう帰る娘に涙する師走冬空なぜ
か淋しく 広崎 大原 郁

日本に女総理が誕生し明るい笑顔順風期
待 馬水 増岡 伸禧

ご近所の庭に真紅のバラの花主人を待つ
て首かしげてる 惣領 新居 露子

俳句 川柳 小春 選

新酒酌む婚礼近き孫娘 福富 井手 悦子

日記買ふ穏やかな色選りぬいて 広崎 大原 郁

葉牡丹を主役に花壇整ひぬ 西原村 中原 義一

冬ぬくし句作り今日はこの窓辺 惣領 阪口由美子

夫と爪切り合ふ音や去年今年 古閑 今村 恒心

寒風や二頭の河馬の水飛沫 赤井 玉春 勇樹

小春日や軒下二段つるし柿 惣領 野宮 逸吉

昼の月忘れないでと自己主張 木山 本田 龍子

御来光朝来山より射し来たる 広崎 大石 高義

セーターに見付けし虫の穴二つ 安永 福山 友子

※12月号に掲載した増岡伸禧さんの句に誤りがありまし
た。正しくは次の通りです。おわびして訂正します。
令和として演歌は昭和に如くは無し 馬水 増岡 伸禧